

困難に向き合うチカラを言語化する

～支援の“次の一手”を描く対話と実践～

障害福祉の現場は、制度の複雑化やニーズの多様化により、前例のない困難なケースに直面する機会が増えています。優れた支援者の経験や勘に頼る「属人的」な対応には限界があり、組織全体で支援の質を維持・向上させていく仕組みが急務です。

本研修は、この課題に正面から向き合います。

困難の構造的理解：支援現場の困難を構造的に捉え直し、根本的な課題を明らかにします。

経験知の共有と継承：個々の実践知を形式知化し、チームや後進と共有・継承するための具体的な手法を学びます。

次世代育成の視点：経験の浅い支援者がどのようにスキルを習得していくのか、そのプロセスを可視化し、効果的な育成方法（OJT）と組織的なサポート体制の構築を目指します。
この研修は、目の前のケースに対応する力を高めるだけでなく、未来の支援者を育て、地域全体の支援力を底上げするためのリーダーシップを養うことを目的としています。

講師：神谷 牧人 氏（阪神北圏域 Co／アソシア. 代表）

阪神北圏域におけるコーディネーターとして、また株式会社アソシア（相談支援・就労継続 B 型等）代表として、地域の相談支援体制の中核を担う実践家です。豊富な現場経験と、圏域全体の課題を見渡す広い視野を併せ持ち、理論と実践を繋ぐ研修には定評があります。（※講師略歴は別紙参照）

参加対象者と得られるベネフィット

対象者（兵庫県内に事業所がある）

- ・ 現任者研修受講済みの相談支援専門員
- ・ 主任相談支援専門員
- ・ 基幹相談支援センター所属の相談員

この研修であなたが得られるもの

- ・ 課題解決能力の向上：複雑なケースを構造的に分析し、有効な次の一手を打つ力が身につく。
- ・ 人材育成スキルの獲得：後輩や部下に対し、具体的かつ効果的な指導・助言ができるようになる。
- ・ 業務の効率化：支援プロセスを可視化・標準化することで、チームの業務効率と質が向上する。
- ・ モチベーションの向上：同じ志を持つ仲間との対話を通じて、日々の実践への活力を得られる。
- ・ 専門職ネットワークの構築：領域や市町を超えた専門職同士の繋がりが生まれる。

日 時：令和 7 年 8 月 22 日（金）10 時 30 分～16 時 30 分

会 場：東りいたみホール（伊丹市立文化会館） 地下 1 階 多目的室

住所：兵庫県伊丹市宮ノ前 1 丁目 1-3

会場の詳細は、「東りいたみホール」HP をご参照ください。

定 員：60 名（先着順）

※定員を超えて申し込みがあった場合、多くの事業所に受講してほしいので、
1 事業所から複数人の申し込みをされている事業所は人数制限をさせていただきます。

※8 月 1 日締め切り

参加費：無料

お申し込み方法：

「申し込みQRコード」もしくは、下記の URL からお申し込みください。

<https://forms.gle/2hGe6wM3xAUAHyAa6>

※受講の可否は、8 月 8 日までにメールでお知らせします。



申し込みQRコード

参加者の皆様へ：リラックスして学びを深めるために

一日研修は集中力が必要ですが、最高の学びはリラックスした状態から生まれます。

講師より、以下のご案内があります。

- ・ドレスコード：カジュアル
- ・リラックスして参加して頂きたいので、受講中の飲食 OK。各自、飲み物やチョコなど持参してください。ただし、じゃがりこ等の音がするのは NG。

プログラム詳細：対話と実践で描く「次の一手」

本研修は、一方的な講義ではなく、参加者一人ひとりが主役となるワークショップ形式で進行します。
多様なバックグラウンドを持つ仲間との対話を通じて、新たな視点や気づきを得ることができます。

10:30～12:00	講 義：困難事例の困難は誰にとっての困難なのか？ 演習 1：困難の定義 演習 2：スキル獲得のプロセス
12:00～12:45	昼休み
12:45～14:15	演習 3：困難を解決するスキルプロセス発表 共 有：それぞれの発表を聞いての共有
14:15～14:30	休憩
14:30～16:00	講 義：演習の進め方の説明 演習 4：知識と経験のカテゴリー分け 演習 5：知識と経験の獲得段階の作成 演習 6：人材育成のプロセスのフロー化 ※グループ内で休憩を入れながら
16:00～16:30	共 有：1 日の講義・演習を通して感じた事を共有 シェア：共有で出た感想のシェア

皆様の参加を心よりお待ちしております。この一日が、あなたの、そして地域の支援の未来を、より豊かにする一歩となることを確信しています。

主 催：

兵庫県相談支援ネットワーク
(兵庫県より委託を受けて実施)

問い合わせ：

児童発達支援センター 川西さくら園

神谷 宣 (かみや せん)

Mail： sakura-sodan@k-shakyo.or.jp

TEL： 080-5222-9421

※電話だと出られない時もあるので、出来る限りメールでお願いします。